

令和3年8月30日

保護者各位

宮城県白石高等学校長 佐藤 浩

学校保健安全法に基づく自宅待機期間の終了について

残暑の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃は本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、今回の本校生徒のコロナウイルス感染に伴う、感染拡大防止を目的とした学校保健安全法に基づくPCR検査実施及び自宅待機につきましては、保護者の皆様に大変なご心配とご負担をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

また、今回陽性と判定され療養されている3名の生徒は辛い闘病生活を強いられていることと存じます。一日も早い回復を祈念しています。

今回の陽性者発生に伴う学校の対応としては、陽性者が判明した当日24日(火)に校内の消毒作業を完了させました。また、PCR検査対象者の特定に向け保健所との協力体制を整えました。生徒の指定医療機関におけるPCR検査は27日(金)までで終了し、28日(土)までには結果が判明しております。残る教職員2名に関しては本日30日(月)に検査、31日(火)に結果判明となっておりますが、検査対象者に認定されてからは出勤しておらず、これ以上の感染拡大はないと、県教育委員会が判断し、本日から学校再開となりました。

報道でも話題になっているデルタ株は、若年層への感染力も非常に高いと言われております。これまでも「マスクの着用」「手指消毒」「黙食」「換気」等指導してまいりましたが、一層危機意識を強め指導を継続していく所存です。

今後もこれまで以上に生徒・職員が協力して、更に安全・安心な学校生活を送れるよう努力してまいります。コロナウイルス感染症は生活のあらゆる場面で起こり得ます。ご子息、ご息女の感染意識とご家庭での感染対策のご確認を何卒よろしくお願い申し上げます。